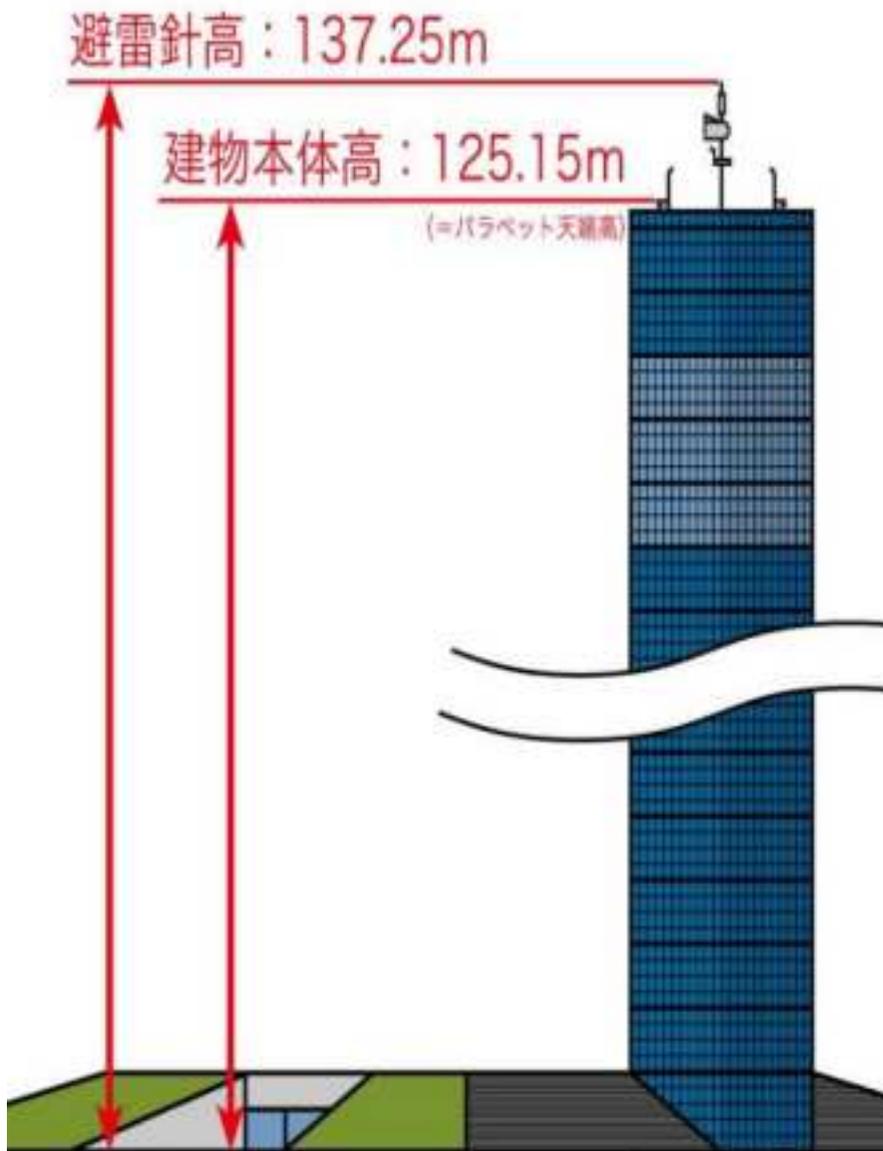


ようこそ千葉ポートタワーへ(抜粋)





【タワーのデータ】

◎オープン 昭和61年(1986)6月15日

- ・昭和58年(1983)に千葉県民500万人の突破記念
- ・日本一の面積を誇る千葉港のシンボル、観光施設

◎塔の高さ

- ・塔体高 地上125.20m
- ・最高高 地上137.25m (避雷針高)
- ・各階高 4階113m (30階建てビルの高さ)
3階109m、2階105m
- ・非常階段 596段

◎塔の形

- ・一辺15.12mの菱形 (ひしがた)

◎壁面 熱線反射ガラス(ハーフミラー) 5,571枚

(厚さ6~12mm、幅1375mmX高875mm)

◎耐震構造 塔屋にダイナミックダンパー15tの錘設置

(瞬間最大風速60m、震度7の激震に対処)

◎エレベーター

- ・乗車定員：1台15人、速度：分速90m
- ・搬送能力：2台で1時間に600人

千葉ポートタワーからの眺め（西側）



千葉中央地区は、千葉港の公共貨物の1/3以上の取扱量を誇る海運の中核拠点となっており、コンテナターミナル、自動車集積基地、食品コンビナート、石油貯蔵所などがあります。





JFEスチール

ガントリークレーン

自動車専運搬船

コンテナターミナル

自動車集積基地

- 首都圏の自動車集積基地 国内メーカーだけでなく海外メーカーも含め数多くの自動車が船で運ばれてきます。また、国内自動車メーカーの輸出拠点にもなっています。輸入自動車として、BMW系列のBMW、プジョー、ミニクーパは全新車がここで荷揚げされ全国に出荷されています。
- コンテナターミナル 平成6年に完成し、アジアなどの多くの国からコンテナ運搬船が往来しています。オレンジ色の大きなクレーンは、高さ78m、49トン吊り。建設費1基10億円。
- JFEスチール東日本製鉄所 西工場と東工場からなり、画面は西工場です。平成15年川崎製鉄と日本鋼管の統合でできました。敷地面積は766ha(東京ドームの164倍)、約2700人が働いています。